

令和7年度学校をよりよくするためのアンケートについて

評価項目を見直し、重点事項をもとに整理しています。児童生徒・保護者・職員の評価で低かった項目は、改善計画を立て、学校運営協議会で評価(判断)していただきます。

4よくあてはまる 3まあまああてはまる 2あまりあてはまらない 1全くあてはまらない

※ 評価結果は、平均値を示しています。評価の低い項目には、網掛けをしています。また、右隣には、4・3の評価の割合を示しています。

※ 平均値はまずまずだが、4・3の割合の低い項目(80%を下回る。太字斜体)も含めて、改善計画を立てています。

重点事項	質問内容	児童生徒	4・3割合	保護者	4・3割合	職員	4・3割合	地域	全体平均	改善計画
確かな学力	日々児童生徒に少人数指導やICT活用をした授業になっているか。	3.7	100	3.2	89	3.2	90	3.7	3.4	(考察)家庭学習の捉え方、課題の出し方について保護者に説明する必要がある。読書と将来のことを考えたり・という項目は具体的な改善策が必要。 ・家庭学習の手引きを家庭に示し、継続して指導すると共に、保護者に子ども達の取組を見える化していく。 ・子ども教室で学習をしていることを保護者に伝える。 ・必要な課題に時間を決めて取り組みさせ、読書の時間も家庭で設定する。 ・将来のことや興味のある本について、紹介する。中学部では、おすすめの本を紹介し、読書量向上を目指す。 ・キャリアパスポート、キャリア教育についてアピールしていく。
	小中学校ならではの良さを生かした指導がなされているか。(授業・行事など)	3.6	97	3.4	89	3.3	100	3.9	3.5	
	児童生徒は、家庭学習に進んで取り組むことができているか。	3.2	84	2.9	79	2.7	67	2.8	3.0	
	児童生徒は、進んで読書をしているか。	2.9	68	2.6	63	2.8	67	2.6	2.7	
	児童生徒は、将来のことを考えたり、日常生活と結びつけたりして学習に参加しているか。	3.1	71	2.7	63	2.8	80	3.0	2.9	
豊かな人間性	児童生徒は、相手のことを考えて、思いやりのある行動がとれているか。(幸動)	3.4	95	3.2	95	3.1	100	3.3	3.3	(考察)全国学テなどでは子ども達の自己肯定感が高いと出ており、今回調査の数値も高いが、保護者の評価は昨年より下がっているその原因が何なのか4段階評価の2の段階が増えている事が気になる。 ・児童生徒の自己肯定感が高いことを保護者に理解して頂ける手立てを考えたい。各調査結果を児童生徒に渡すだけでなく、参観日等で資料として使っていきたい。 ・清掃については、フリー参観などを計画し、保護者にみてもらう。また行事等の準備や片付けについて、児童生徒が主体的な活動に取り組めるように仕向けていきたい。
	児童生徒は、学校内外で進んで元気よくあいさつ、返事をしているか。	3.5	95	3.1	89	3.1	100	3.4	3.3	
	児童生徒は、無言で時間いっぱい清掃に取り組んでいるか。	3.3	95	3.1	79	3.0	80	3.0	3.2	
	児童生徒は、進んで学校や地域の行事に参加しているか。	3.5	89	3.3	84	3.7	100	3.6	3.5	
	学校は、人権教育や命を大切に教育に取り組んでいるか。	3.6	95	3.2	89	3.1	90	3.3	3.3	
	児童生徒は、自分には良いところがあると思っているか。(自己肯定感)	3.2	84	2.8	79	3.5	100	3.0	3.1	
たくましい体	児童生徒は、進んで運動をしているか。	3.3	82	2.7	53	3.3	90	3.3	3.1	(考察)学校保健委員会等を活用してメディア利用について呼びかけているが、昨年からさほど変わっていない。睡眠時間の確保が必要であり、具体的な取組が望まれる。 ・屋休みの遊びや小中合同委員会での企画、体力テストの結果について保護者に周知していく。 ・学習時間を確保すれば、おのずとメディア時間は減ると思われる。家庭と協力し、本年度も行ったノーメディアデー等を設定していきたい。
	児童生徒は、交通安全に気をつけ、避難訓練等に積極的に参加しているか。	3.7	97	3.2	89	3.2	100	3.3	3.4	
	児童生徒は、早寝・早起き・朝ごはんをこころがけ、規則正しい生活をしているか。	3.1	82	3.2	84	3.8	100	2.8	3.3	
	児童生徒は、メディア(TV・携帯・ゲーム)使用時間について、けじめをつけているか。	2.8	68	2.4	37	2.2	22	2.0	2.5	
信頼される学校	学校は、情報(通信・行事案内・ホームページ等)を、きちんと地域・保護者に発信しているか。	3.3	84	3.2	89	3.5	90	3.6	3.3	(考察)保護者・地域との相談については、個別に職員も対応しているが、数値は下がっている。希望面談週間やフリー参観週間等の取組が必要ではないか。 ・これまで通り真摯に対応していきたいと考える。協力体制や相談不足についても意見を伺う中で改善していきたい。参観日、PTA運営委員会等でも伺ってきたい。
	学校は、いじめ防止の体制づくりや相談活動を積極的に行っているか。	3.3	86	3.1	89	3.5	100	3.6	3.3	
	学校は、家庭や地域と協力体制がとれているか。	3.3	92	2.9	74	3.5	100	3.3	3.2	
	学校は、児童生徒の皆さん・保護者・地域の願い(相談)に応えているか。	3.2	84	2.7	58	3.4	100	3.4	3.1	

学校運営協議会委員より(保護者からのご意見も踏まえて評価していただきました)

<p>確かな学力・・・新年度より朝自習がなくなるといことで、読書の時間が減ることが予想される。色々な工夫をされていると思うが、家庭でも保護者に協力を依頼し、読書する習慣が確立されると良い。</p> <p>豊かな人間性・・・おおむね良好であると思われる。今後とも人権や命を大切に教育に取り組んでほしい。自己肯定感が高い児童生徒が多く安心した。</p> <p>たくましい体・・・メディアについては、子どもだけではなく、親世代の改革が大きな課題と感じた。PTA総会などで広く知らせて方が良い。 また子ども達からも自分たちでルールを決め、守ることが必要</p> <p>信頼される学校・・・PTA、地域連絡協議会、学校が同じ方向を向いて行事運営をしていくことが大事。地域の中で学校を育てていくという理念を共有することが大事で、そのために何が出来るかを考えていくべきだと思う。</p> <p>その他・・・くろいわ祭・黒岩秋祭りの同日開催については、おおむね賛成の意見が多かったので、次年度もその方向でやってもらいたい。企画の段階から中学生にも参加してもらいたい。くろいわ祭の準備があるので、難しい面はある。学校での開催のため卒業生も多く参加していて、とても良かった。 学校運営協議会補助金は、昨年・今年と地域を巻き込んだ形の講演会等に使っていけば良いと思う。 準会員費(不在学家庭協力金)も今後とも続け、地域で学校を支えていきたい。</p>
--